

令和6年度女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業(固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消に資する調査研究)

趣旨・目的

女性活躍・男女共同参画の重点方針2023(女性版骨太2023)では、「児童生徒の固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みを解消するための取組や、幼児期からも同様に、固定的な性別役割分担意識等を植え付けることなく、女子の理工系分野での活躍など将来のあらゆる選択肢について自由な希望を抱くことができるようにするための教育環境の整備に資する取組を行う。」とされている。

本研究は、日本における幼児期の子どもを対象とした教育現場等における固定的な性別役割分担意識やアンコンシャスバイアスの現状とその課題に関する調査研究を行い、幼児教育におけるジェンダー分析のための尺度を作成し、研修に資するワークシート等の教材開発を行うための基礎資料を作成することを目的とし実施する。

調査内容



調査1 オンライン回答による質問紙調査

- 対象 : 幼稚園、保育所、認定こども園の園長、教諭、保育士
件数 : 回答数1,000(予定)
主な調査項目 : 園の実態と実践、子どもの実態、保護者への対応、保育者自身の意識、養成や研修等
分析 : 単純集計、クロス集計(園種別、規模、男女比、経験年数 等)



調査2 インタビュー調査(訪問またはオンライン)

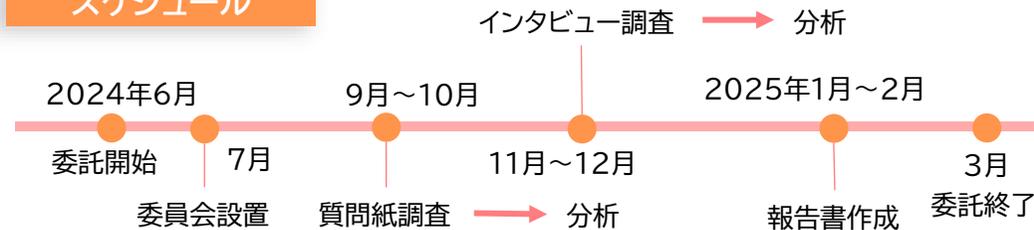
- 対象 : 幼稚園
件数 : 5件程度
主な項目 : 調査1において記述した工夫事例等
分析 : インタビュー内容に基づき、その実践に至ったプロセスを分析



成果・効果

- 現代の保育者のジェンダー観を明らかにし、幼児教育現場のジェンダーバイアスの改善につなげる。
- 過去の踏襲により行われてきた、性別役割分担意識を形成するような保育実践について、調査を通じて可視化し、実践事例も紹介することで、意識付けを行い、各園の幼児教育実践の改善につなげる。
- 幼児教育現場における職員構成のジェンダーアンバランスは著しく、その中でどのような課題があるのか、本調査によって明らかになる課題を提示することで、管理職自身がマネジメントを振り返る契機となり、現場全体の変革につなげる。

スケジュール



調査検討委員会

- (メンバー:多方面からの協力を得て構成)
- ・幼児教育(就学前)
 - ・小学校(学童期)
 - ・保護者
 - ・研究
 - ・企業(産業界)

- 第1回 調査全体の構成・スケジュール
- 第2回 質問紙調査後、インタビュー調査対象等、中間報告
- 第3回 調査実施後、報告書作成に向けてのとりまとめ方針